

☆ 年神様をお迎えする門松づくり 更屋敷 八剣神社 ☆

お正月には年神様がやってきます。年神様は特定の宗教の神様ではなく、その年の福や徳をつかさどる歳徳神（としとくじん）や穀物の神、先祖の霊などの複数の神様が一つにまとめられた民間信仰が伝わったとされています。その神様が家へ訪れてくるための目印が門松の役割です。

12月24日（日）、更屋敷の八剣神社では手作りの門松づくりが行われました。1週間前、138タワーパーク東の竹林から竹を譲り受けることから始まり、松、梅、南天、葉ボタン、杉皮などを地元から調達し、氏子の皆さんが力を合わせ門松を完成させました。

年々、手作りの門松を伝承する人が少なくなってきました。更屋敷八剣神社では今でも手作り門松にこだわり、技術を継承しています。

竹は節の部分から斜めにそぐと、切り口が笑った顔に見えるため、縁起が良いとされています。この「そぎ」の作業は大変難しく、地元の工務店にお願いをしています。これからも良き伝統を継承していただきたいと思います。



完成した門松



竹林から竹を切り出す



竹を斜めにそぐ



門松づくり



杉皮に縄を7・5・3重に巻く

\*\*\* \*\* \*\* \*\* \*\*

地域づくり協議会では、葉栗連区のホームページを開設しています。身近な話題や各種の行事、講座の案内、地域の出来事などを見ることが出来ます。スマホから右のコードを読み込んでください。

葉栗 HP→

